



撮影地  
東伊豆・  
八幡野海岸

## 触手に居候 オシヤレさん

広い砂底を移動している  
と、鮮やかなピンク色のス  
ナイソギンチャクに出会っ  
た。海中で、これ  
ほど極まった美し  
い色彩は珍しい。  
ストロボの強い光  
を当てると、その  
彩色美が際だつ。

伊豆の  
海から

透明な体は、

イソギンチャク

無数にある触手の表面  
は、毒をもつ刺胞という小  
さなイボイボで、くまなく  
覆われている。よく見ると、

と暮らしているうちに、だ  
んだん赤っぽく同化して、  
純白の長い足と見事にマツ  
チしている。縞模様しまがらみにドレ

スアツプされた身体は、人  
間が生み出す模様を超越し  
た感じで、思い切りオシヤ  
レだ。

彼らは敵から身を守るた  
めに、触手の間で暮らすこ  
とを思い立った。長い時間  
をかけて、少しずつその体  
を毒に慣らしてきたのだろ  
う。そして、イソギンチャ  
クと共生できる体に進化さ  
せてきた。

小さくとも、自然の法則  
のなかで、独特の生きる技  
をあみ出してきた凄すごいヤツ  
なのだ。

(水中写真家・伊藤勝敏)